

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課		■担当係	公園緑地係
■評価事業名称	展勝地開園100周年記念事業準備委員会負担金			
■事業開始年度	平成24年度			
■評価事業コード	070400 - 321	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	展勝地開園100周年へ向けて、展勝地の歴史及び先人達の思い、風土を市民とともに理解を深め盛り上げとする。展勝地開園100周年記念事業準備委員会への負担金。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	展勝地開園100周年記念事業準備実行委員会負担金	一般	準備委員会総会の開催1回 企画部会の開催5回 「展勝地風土記」発行4回 ゆかりの地訪問事業の開催2回	委員会開催2回、企画部会開催2回、展勝地風土記発行3回、ゆかりの地訪問事業開催2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	343	5,509	325	327	
人件費	2,596	2,532	2,102	2,213	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,939	8,041	2,427	2,540	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	企画部会開催	5回	5回	3回	2回	展勝地開園100周年に向けたフォーラム等の企画等
	総会(設立会)開催	2回	1回	3回	2回	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

本委員会にて策定の、展勝地開園100周年に向けた事業工程表に基づき、事業実施されている。

問題点・課題等

実行委員会設立に向け、記念事業概要、推進体制の検討を進めている中で、庁内外からの様々な意見があることから、各方面での調整が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

記念事業実施に向け、準備委員会から実行委員会に移行し、より具体的な協議、事業推進していく必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了